脱施設化ガイドライン案への世界のコメント（2022年6月）　No.20



**ピープル・ファースト香港**

**緊急事態を含む脱施設化に関するガイドライン案提出書類**

**2022年7月4日**

　Chosen Power（ピープル・ファースト香港。訳注 Chosen Power は選ばれた力の意味）は、香港特別行政区のセルフアボカシー団体である。1995年 に知的に違い（知的障害）をもつ当事者と、異なる学習特性をもつ自己支援者当事者によって設立された。インクルージョン・インターナショナル、香港の共同障害者委員会のメンバーでもある。

参照文書

1. 『施設（しせつ）から出る』（ガイドライン案わかりやすい版）

2. 緊急事態を含む脱施設化に関するガイドラインの案

以下に関するオンライン、対面での説明・相談会：

1. Chosen Powerの当事者、両親、支援者、わかりやすい版審査チーム
2. 知的に違いのある当事者、精神（ｐｓｙｃｈｏｓｏｃｉａｌ）障害、保護者団体、専門家、学識経験者の地域協力団体。

**全体意見**

1. 『施設（しせつ）から出る』（ガイドライン案わかりやすい版）」を歓迎する：私たちが協議プロセスに参加できるようにこのようなわかりやすい版が作られたことは初めてのことである。これは間違いなく、尊重と情報アクセシビリティの具体例な象徴である。私たちの同胞団体も、懸念事項や問題点を素早く理解することができると歓迎している。
2. 私たちは、法的能力と意思決定支援の問題が、私たちの尊厳、自立、自律、選択の自由を維持するための重要な要素のひとつであると認識されたことに高く評価する。
3. 私たちは脱施設化を全面的に支持しており、このガイドラインは包括的なものである。 **すべての人**のためのガイドラインである。
4. 異なる能力を持つ人と家族が市民として、選択した地域社会で生活することを支援する。私たちはガイドラインが政府にとって、この全般的な改革に向けた良い方向性を与えると信じている。
5. 私たちは、このガイドラインは長期的な方向性を示すものであるが、必ずしもすべての国や都市で実現できるものではないと考えている。
6. すべての刑務所が閉鎖されるのは少し心配である。 もしそうであるなら、どのような良い選択肢があるだろうか？
7. 私たちの親は、政府はすべての施設を閉鎖するためにあらゆる措置と責任をとるべきであるというガイドラインの見解に賛同している。しかし、親たち、特に高齢の親たちは、新しいサービスや支援にノウハウや人材が不足している場合を非常に心配している！
8. 私たちは、家族へのさまざまな具体的支援を歓迎する。
9. 多くの専門家や学識経験者はいまだに、医療モデルに頼った教育、研究、サービス提供方法の指導という安全地帯にいる！ガイドラインはそのような法律の専門家、学者、実践家にどのように伝わるのだろうか？

**改善提案**

一般的な提案

1. 施設の定義：家族によって管理されるような実家での生活を追加する。
2. ガイドライン地域協議が非常にアクセシブルでない。
   1. 事前に読んでおくことは簡単ではない
   2. 共有や 討論の時間は、私たちにとって**足りない**。発言したり表現したりする時間がもっと必要だ。
3. 総合的な理解に必要な公式の中国語全文がないこと。このような国際協議には、国連のすべての公用語文書が提供されるべきである。
4. ガイドラインのわかりやすい版ができたことは素晴らしい。 しかし、協議期間の途中で利用できるようになった。わかりやすい版を読む人には、協議の準備や提出書類の作成に十分な時間が**ない**。 公正な協議のためには十分な時間の確保が望ましい。
5. わかりやすい版は、私たちが見直し、検討するための質問を提供することもできる。
6. 活字以外のさまざまな提出方法を用意すること。

**わかりやすい版に関する提案**

1.概念:

* 1. 人権はすべての人間が生まれつき保持している。 それは法律によって保護されている。 権利は法律によって付与されるべきではない。 3ページの権利の説明を確認されたい。
  2. 性別および性指向について、説明を記述してすること。

1.3　 障害のある人は権利を**持っている**という表現を使うこと。

家族やジェンダーの概念は最新のものでなければならない。

2.全体：

* 1. 多くの重要な概念や提案が本文に含まれていない。 簡略化されすぎている。 十分な情報をしらせることは非常に重要であり、そうすることによってアイデアや提案を出すことができる。
  2. セクションごとにレイアウトが異なる。
  3. 箇条書きの使用は避け、読者が参照しやすいように1、2、3、4を使用すること。
  4. 国連文書として、民族、特にアジア人の表現が含まれる必要があり、十分に多様である必要がある。
  5. 各国共通の表現が必要。
  6. 代名詞の使い方を統一することで、理解を深めることができる。
  7. 主要な文字、アイコンの一貫性のある使用が助けになる。
  8. キーワード、コンセプト、行動を説明するイラストがあるのが最も望ましい。

詳細な提案については、添付の2つのファイルをご参照ください。:

1. 本文の前提
2. イラストの前提

**連絡：**

**連絡先：エミリー・フォン**

**Email:** [chosenpower1989@yahoo.com.hk](mailto:chosenpower1989@yahoo.com.hk)

（翻訳：宮澤明音、尾上裕亮、佐藤久夫）